

北陸

【富山】総会は情報の宝庫

コロナ禍3年目、民放仲間との交流を深めようと4月22日(金)、富山市のカナルパークホテルで総会を開催し、来賓・会員、合わせて48名が出席。役員改選を含め、各議案が原案通り満場一致で可決承認されました。

テーブルには昨年同様、コーヒーとケーキ。密を避けながら、懐かしい仲間との再会は「元氣」を知らせる場であります。

新入会員の紹介後、来賓の各社代表者の挨拶があり、北日本放送から「今年は開局70周年の節目の年、日本海側で初のバンク



シー展など開催予定」。富山テレビ放送から「閉塞感のある中、B T創生一億円プロジェクトを立ち上げる」。チューリップテレビから「建設中の新社屋が昨年10月末に引き渡し、今年8月から新マスターシステムが稼働する」。

富山エフエム放送からは「音声メディアとしてデジタル技術を活用したラジコ(Radiko)やオーディー(Audio)など、アプリを使った多様なサービスの提供」などが語られ、話題性の多い懇親会でした。

【石川】コロナの下で工夫して

コロナ感染予防のため、3年連続、総会は書面評決、会員懇親会は中止しています。このため、会員の相互交流が思うようにならず苦慮しています。そこで、日帰り圏内で、集合場所と集合時間だけを決め、記念写真を撮った後は自由行動という「ゆるい」旅行を企画、実施しています。昨年は家族連れでの参加もあり、回数を重ねれば参加人数も増えるのではと期待しています。各同好会も例会の開催には

苦労しています。絵画同好会は例会中止の時、美術館での展示会を鑑賞した後、ランチ会で会員相互の親睦を深めました。新しく2名の方が入会しました。写真同好会は、例会を開催できない時は写真データを事務局に送り、ブログに掲載して、絶やさずに活動をしてきています。俳句同好会「緑蔭句会」も、月によつては「メール句会」を開催して活動を行っています。4月例会は久々に兼六園を中心に吟行も行いました。古着をリフォームする「結の会」は、しばらく休会していました。ようやくこの春活動を再開しました。「お茶の会」はまだ同好会として発足していませんが、工夫を凝らして集まれるよう検討しています。

【福井】北陸新幹線

延伸工事、急ピッチ

小川 忍(f t b)

北陸新幹線は、2024年春に金沢から敦賀まで延長され、いよいよ福井県から東京までが乗り換えなしで繋がります。

現在、工事は急ピッチ。線路の

敷設はほぼ終わり、停車駅(小松、加賀温泉、芦原温泉、福井、越前たけふ、敦賀)の駅舎も完成し、その全容が見えてきました。県では開業に合わせて、42・195kmの「さくらマラソン」の新規開催や県内観光地のイベント整備などの準備に追われています。筆者がテレビ局に入社した昭和46年頃から構想が持ち上がり、報道部でも再三、ニュースに取り上げてきた北陸新幹線。金沢止まりが長く続きましたが、会社をリタイアして12年目によるやく延伸されると思うと感慨深いものがあります。コロナで行動範囲が制限されてきた分、開業したら民放クラブ福井も何か大きな記念イベントを企画したいと思う今日この頃です。



新装なった北の玄関口
芦原温泉新駅舎